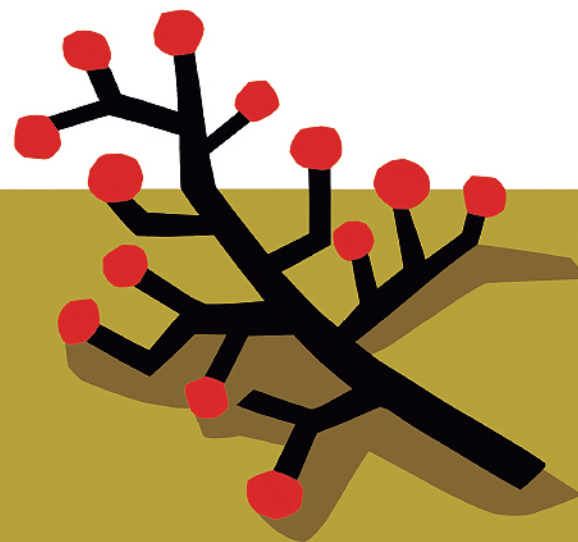
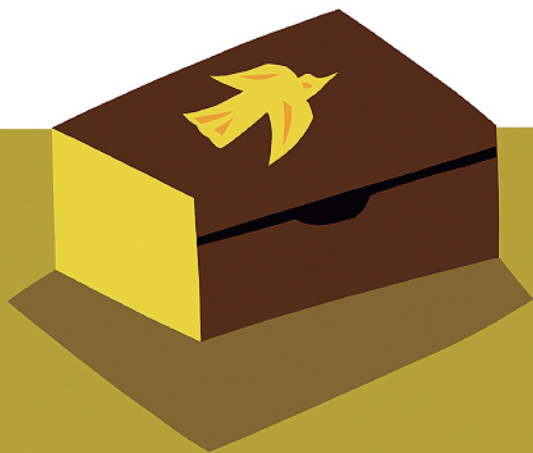


mizu maru ANZAI

my illustrations,
and there I was.

安西水丸
とイラストレーション
絵があつて、
ぼくがいた。
2026年9月14日(月) - 10月25日(日)



宮沢賢治「春と修羅」挿画、ほるぷ出版、1984年

📍会場：武蔵野美術大学美術館 展示室3・4・5 🕒開館時間：10時 - 18時（土曜、祝日、特別開館日は10時 - 17時）📅特別開館日：9月20日(日)、10月11日(日)、10月25日(日)
📅休館日：9月27日(日)、10月4日(日)、10月18日(日) 🎫入館料：無料 🏛️主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館 🤝特別協力：安西水丸事務所 🤝協力：PLAY! MUSEUM
👤企画監修：白井敬尚（武蔵野美術大学造形学部 視覚伝達デザイン学科教授）、いとう 曜（同 油絵学科グラフィックアーツ専攻教授） 🏢会場構成：平川凌成建築設計事務所

MAUM&L
Musashino Art University Museum & Library

100

1929-2029 武蔵野美術大学
100th
美はつづく。美術館・図書館

187-8505 東京都小平市小川町1-736 電話：042-342-6003 <https://mauml.musabi.ac.jp/>

mizu maru ANZAI

my illustrations,
and there I was.

安西水丸
とイラストレーション
絵があつて、
ぼくがいた。
2026年9月14日(月) - 10月25日(日)



萩原朔太郎「月に吠える・青猫」装画、ほるぷ出版、1984年

会場：武蔵野美術大学美術館 展示室3・4・5 開館時間：10時-18時（土曜、祝日、特別開館日は10時-17時） 特別開館日：9月20日(日)、10月11日(日)、10月25日(日)
休館日：9月27日(日)、10月4日(日)、10月18日(日) 入館料：無料 主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館 特別協力：安西水丸事務所 協力：PLAY! MUSEUM
企画監修：白井敬尚（武蔵野美術大学造形学部 視覚伝達デザイン学科教授）、いとう 曜（同 油絵学科グラフィックアート専攻教授） 会場構成：平川凌成建築設計事務所

MAUM&L
Musashino Art University Museum & Library

MAU

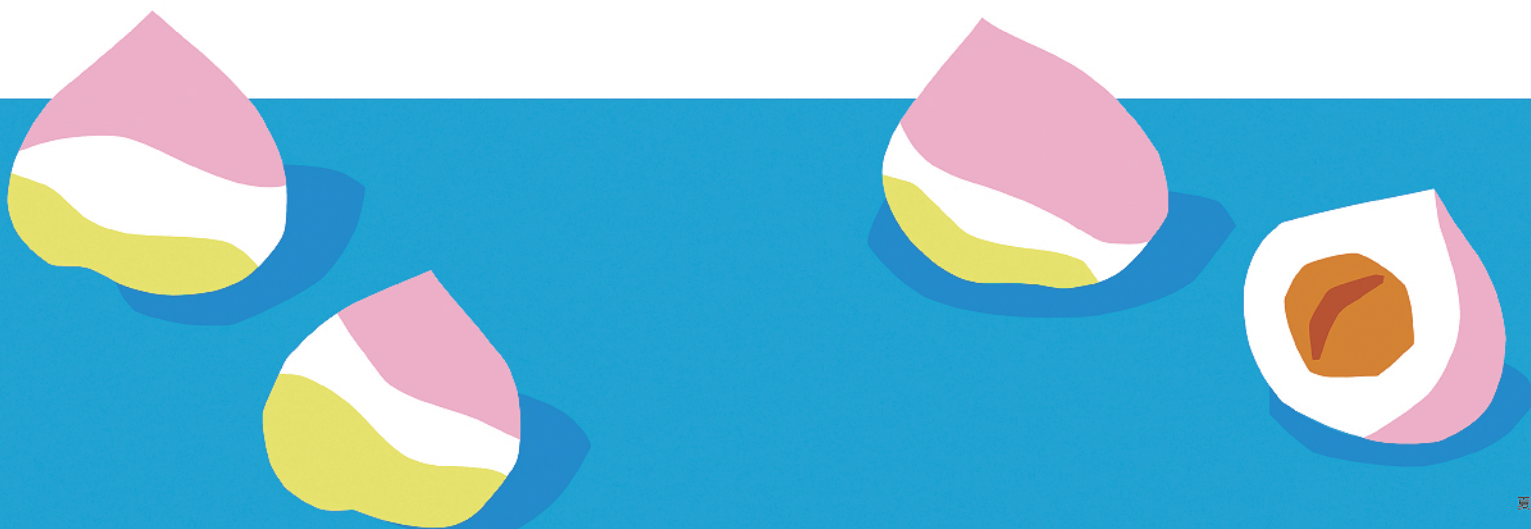
1929-2029
100th
美はつづく。 武蔵野美術大学
美術館・図書館

187-8505 東京都小平市小川町1-736 電話：042-342-6003 <https://mauml.musabi.ac.jp/>

mizu maru ANZAI

my illustrations,
and there I was.

安西水丸
とイラストレーション
絵があつて、
ぼくがいた。
2026年9月14日(月) - 10月25日(日)



夏目漱石「三四郎」表画、其の44号版、1955年

📍会場：武蔵野美術大学美術館 展示室3・4・5 🕒開館時間：10時～18時（土曜、祝日、特別開館日は10時～17時）📅特別開館日：9月20日(日)、10月11日(日)、10月25日(日)
📅休館日：9月27日(日)、10月4日(日)、10月18日(日) 🎫入館料：無料 📌主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館 🤝特別協力：安西水丸事務所 🤝協力：PLAY! MUSEUM
👤企画監修：白井敬尚（武蔵野美術大学造形学部 視覚伝達デザイン学科教授）、いとう麗（同 油絵学科グラフィック・アーツ専攻教授） 🏢会場構成：平川愛成建築設計事務所

MUUM&L
Musashino Art University Museum & Library

100

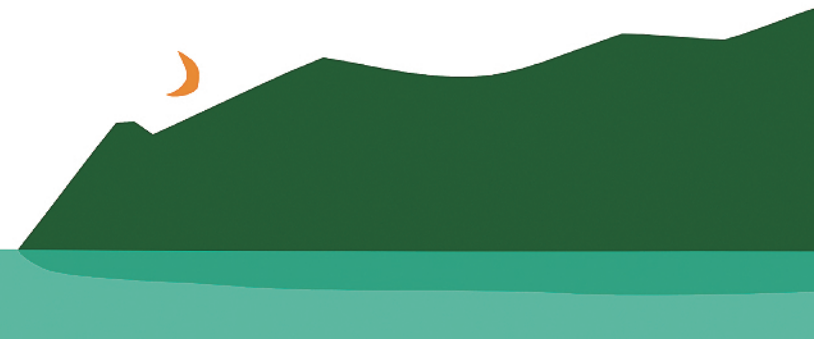
1929-2029 武蔵野美術大学
100th
美はつづく。美術館・図書館

〒187-8505 東京都小平市山崎町1-736 電話：042-342-6003 <https://mauml.musabi.ac.jp/>

mizu maru ANZAI

my illustrations,
and there I was.

安西水丸
とイラストレーション
絵があつて、
ぼくがいた。
2026年9月14日(月) - 10月25日(日)



中巻数「山月記・李職」表画、はる(岩出版、1985年)

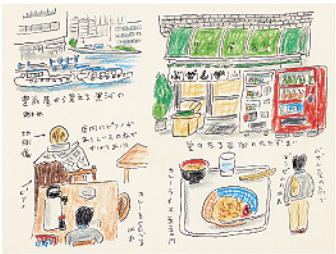
📍会場：武蔵野美術大学美術館 展示室3・4・5 🕒開館時間：10時 - 18時（土曜、祝日、特別開館日は10時 - 17時）📅特別開館日：9月20日(日)、10月11日(日)、10月25日(日)
📅休館日：9月27日(日)、10月4日(日)、10月18日(日) 🎫入館料：無料 🏛主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館 🤝特別協力：安西水丸事務所 📈協力：PLAY! MUSEUM
👥企画監修：白井敏尚（武蔵野美術大学造形学部 視覚伝達デザイン学科教授）、いとう暉（同 油絵学科グラフィックアーツ専攻教授） 🏗会場構成：平川慶成建築設計事務所

MAUM&L
Musashino Art University Museum & Library

100th
MAU

1929-2029 武蔵野美術大学
100th
美はつづく。美術館・図書館

187-8505 東京都小平市小川町1-736 電話：042-342-6003 <https://mauml.musabi.ac.jp/>



「大衆食堂へ行こう」雑誌「一人」一人出版、2001年



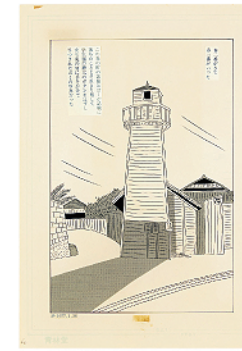
「a day in the life」雑誌「チルデンびと」風土社、2007年



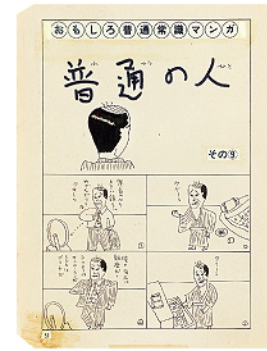
小説「荒れた道」装画、新潮社、1993年



雑誌「レガート」装画、ヤマハ、1995年



「香はやて」雑誌「ガロ」青林堂、1977年



「普通の人」雑誌「宝島」JICC出版局、1982年



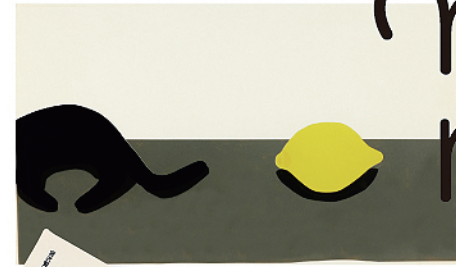
雑誌「Q'at: 週刊求人タイムス」装画、学生援護会、1983年



絵本「りんご りんご りんご りんご りんご りんご」
主婦の友社、2005年



雑誌広告「J・プレス短編集」1985年頃



萩原朔太郎
「月に吠える・青猫」装画
ほるぷ出版、1984年



雑誌「小説現代」目次、講談社、1980年代

Illustrations: Mizumaru Anzai © Masumi Kishida / Photographs: Yuki Akaba



「日本の文学」近代編
ほるぷ出版、1984-85年

mizu maru ANZAI

my illustrations,
and there I was.

緩やかな線と鮮やかな色彩のイラストレーションが広く知られる安西水丸は、1970年代半ばから漫画、絵本、小説、エッセイなど、ジャンルを越えて幅広く活躍しました。

当館では近年、本学の美術教育に資することを期して寄贈された、安西の生涯にわたる仕事の大半を成す原画の整理・調査を進めてきました。膨大な原画群からは、印刷物を通しては捉えきれない作家自身の手の痕跡を直接感じ取ることができます。同時に、それらはデザインと美術の領域のあわいで同時代の視覚文化を映し出す資料でもあります。

本展では、イラストレーター安西水丸としての活動初期から晩年に至るまでの代表的な仕事を軸に、村上春樹や嵐山光三郎との共作、さらに幼少期から大学時代にかけての作品や「ガロ」に連載された初期の漫画原稿など、13,000点を超える原画の中か

ら厳選した約1,000点を展示し、その創作活動を概観します。

安西が活動を開始した1970年代は、多くのイラストレーターが登場し、雑誌や広告といった印刷文化を通じてその表現が広く社会に浸透していった時代でもありました。本展では、同時代に活躍したイラストレーターたちの作品を館蔵ポスターより選び、あわせて紹介することで、彼らの独創的な表現の総体が時代の雰囲気をも牽引し、華々しいイメージの形成の一端を担っていた様子を振り返ります。

「上手い下手ではなく、自分にしか描けない絵」を大切に安西の作品は、個人的な感覚に深く根ざしながらも、同時に不思議な普遍性を宿しています。時代の感覚を軽やかに映し出しつつ、細部に静かに目を凝らし続けた安西水丸の仕事や、その豊かな軌跡とともに迎えます。

安西水丸 (1942-2014)

東京都赤坂生まれ。幼少期を千葉県千倉町(現南房総市)で過ごす。日本大学芸術学部美術学科を卒業後、電通に入社し国際広告制作室に配属される。退社後ニューヨークのアデザインスタジオ勤務を経て、平凡社に入社。アートディレクターを務めた後、81年に独立。イラストレーターとして活動を始め、晩年まで雑誌の表紙や挿絵、書籍の装画を数多く手掛けながら、漫画、絵本、小説、エッセイなどの自著も発表し続けた。代表的な著作に、漫画「青の時代」(青林堂、1980年)、村上春樹との共著「家工場のハッピーエンド」(CBS・ソニー出版、1983年)、小説「荒れた道」(新潮社、1993年)などがある。

関連イベント

「イラストレーターストーク: 水丸さんから教わったこと、学んだこと」
日時: 9月19日(土) 14:00-15:30 (13:30開場)
会場: 美術館ホール
出演: 山崎杉夫、信濃八太郎、いとう瞳
* 入場無料、先着順(予約不要)。直接会場へお越しください。
* その他の関連イベントは順次当館Webサイトで公開いたします。
* 同時開催展覧会「MIX WORKS—tupera tuperaの仕事 2002-2026」

交通アクセス

- 西武国分寺線「鷹の台」駅下車、徒歩18分
- JR中央線「国分寺」駅北口4番停留所より西武バス「武蔵野美術大学」行または「小平営業所」行に乗り、「武蔵野美術大学正門」停留所下車(バス所要時間: 約25分)
- JR中央線「立川」駅北口5番停留所より立川バス「武蔵野美術大学」行に乗り、「武蔵野美術大学」停留所下車(バス所要時間: 約25分)
- * お車でのご来館はお控えください。

武蔵野美術大学 美術館・図書館
187-8505 東京都小平市
小川町1-736
電話: 042-342-6003
<https://mauml.musabi.ac.jp/>
X, Instagram: @mau_m_l

